

Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト 報告会を実施します！

福岡市では、農作業の効率化や省力化、生産性の向上を図るスマート農業を推進するため、令和6年6月より、「Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト」を開始いたしました。（参考：別添リリース資料）

このたび、**高島市長出席のもと**、市内生産者と実証実験を行っている企業等、及び今津リフレッシュ農園での「チャレンジ農園プログラム」採択企業等による**報告及び現地視察を実施いたしますので、ぜひ当日の取材をお願いいたします。**

1 日時

令和7年4月3日(木) 11:30～12:00

※報道機関の受付は 11:00～右記の
大型駐車場で行います。

2 場所

今津リフレッシュ農園（福岡市西区今津5685）



3 概要（予定）

※少雨決行（判断に迷う場合は下記問い合わせ先へご連絡ください）

① 市内生産者と実証実験を行っている企業等による報告

- ・九州大学 古閑研究室
- ・グリーン株式会社

② チャレンジ農園プログラム採択企業等による報告 & 現地視察

- ・Carbon Xtract株式会社
- ・株式会社アイナックシステム
- ・SACMOT s

〈報告を実施する企業等の詳細は別紙〉

駐車場入口



終了後、自動収穫ロボットによる
イチゴ摘み実演を実施予定



【本リリースに関する問い合わせ先】

農林水産局政策企画課 森塚 [電話 092-711-4840]

▶ 市内生産者の農地での実証実験

団体名	事業内容
九州大学 古閑研究室	プラズマ照射種子が夏場の生産力の低下を抑える効果があるかを検証
グリーン株式会社	農業用IoTソリューション「e-kakashi」を圃場に設置、データの収集体制を整備し、科学的根拠に基づいたデータ活用による生産性の向上等を検証

▶ 今津リフレッシュ農園での実証実験

団体名	事業内容
Carbon Xtract 株式会社 	膜DAC技術を用いた小型ハウス向けのCO2施用装置の開発 膜DAC（ナノ分離膜を用いて大気中からCO2を回収する技術）を施設園芸のCO2施用に利用するなど、化石燃料を使用しない環境配慮型の栽培方法の確立を目指す。
株式会社 アイナックシステム 	水やり・土の暖め・収穫の自動化で農作業の効率化・収益増 自動水やりシステム・局所ヒーターシステム・いちご自動収穫ロボットを、小型栽培棚においてパッケージ化。都市型農業での普及を見据えたいちご栽培のハーフオートメーションを社会実装することで、農作業時間の大幅削減・収益増を目指す。
SACMOT s 	低農薬・低肥料で高収量・高付加価値を実現する次世代農業 葉面浸透材（化学農薬や化学肥料を大幅に削減する微粒子）と環境記憶種子（高温条件下でも作物の収量、品質を落とさない技術）によりコスト削減・高収入を目指す。最終的には上記2つの技術を統合し、効果を最大化したPlant Drug Delivery System（PDDS）を提供する。

R6.8.6 採択式でのプレゼン @FGN



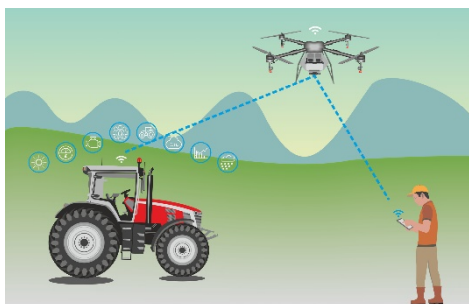
実証実験用ハウス（今津リフレ内）

「福岡市農業 × スマート農業」

Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト 参加企業募集

福岡市では、農作業の効率化や省力化、生産性の向上を図るスマート農業の推進のため、市内生産者の課題やニーズと企業の技術やアイデアのマッチングプロジェクトを開始いたします。

6月14日より参加企業等の募集を開始しますので、周知ご協力をお願いいたします。



イラストは、イメージ

① 市内生産者とのマッチングプログラム

- **対象企業** : 市内生産者の課題等※ を解決する**スマート農業の技術・アイデアを有する**企業等
- **支援内容** : ①市がワンストップ窓口となり、きめ細やかなマッチングを実施
②8月に市内生産者を招いたマッチングイベントを開催 など
- **申込締切** : 令和6年7月3日(水) 本プログラムの参加登録完了以降、随時マッチングを開始

② チャレンジ農園プログラム

- **対象企業** : 市内生産者の課題等※ を解決する**スマート農業の社会実装を目指し、今津リフレッシュ農園内で実証実験を希望する**企業等
- **支援内容** : ①今津リフレッシュ農園内の実証実験フィールドの提供
ハウス2棟、露地畑1枚(各10~20坪程度)を1社につき1フィールド
②賞金 100万円(実証実験の必要経費) など
- **選定方法** : 書類審査、プレゼンテーションにより参加企業等 **3社** を決定します
(書類審査は、7社以上申込みがあった場合に実施します)
- **スケジュール** : **申込締切 令和6年7月3日(水) 17時**
参加企業等決定 令和6年8月上旬(予定)
実証実験開始 令和6年9月下旬(予定)

※市内生産者の課題等の例

- ✓ 軟弱野菜(春菊・小松菜など) : 夏場の生育不良、高温対策、病害虫の発生
- ✓ いちご : 収穫・選果・パッキング作業効率化、施肥・防除自動化
- ✓ トマト : 高温・強日射対策、収穫モニタリング など

詳細は公募要領の別紙「福岡市内生産者が抱える課題及び想定されるスマート農業技術要件」参照



公募要領・
申込フォームは
こちら

【本リリースに関する問い合わせ先】

農林水産局政策企画課 森塚 [電話 092-711-4840]